

# 私的「生成AIとの付き合い方」 + 研究者検索システムResBridgeの紹介

Presented By:

自然科学研究機構 共創戦略統括本部

特任准教授 (URA) 稲田 仁

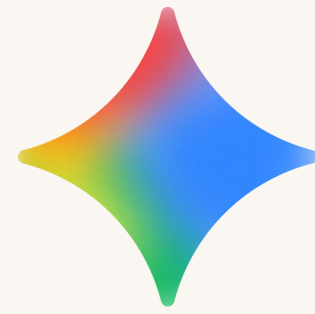
# 汎用(商用)生成AI戦国時代

---

## 御三家



ChatGPT



Gemini



Claude

## メジャー系



Copilot

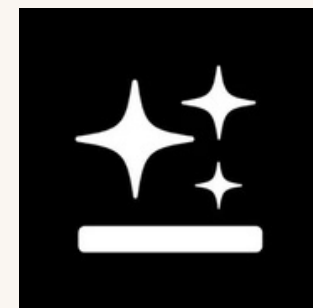


Grok

## 特化型・エージェント型



Perplexity



Genspark



Manus

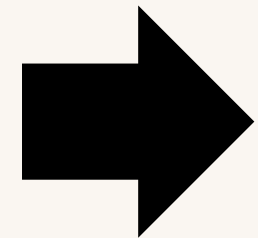
# 生成AIの個性

生成AI	得意	特徴	マルチモーダル機能
Perplexity	調査・リサーチ・事実確認（ファクトベース）・最新情報の収集	検索エンジン型AI・回答に出典リンクを明示・Web検索と要約に強い・簡潔で結論重視	テキスト入力／出力・画像入力（画像に関する質問）※生成系マルチモーダルは限定的
ChatGPT	文章生成・要約・翻訳・プログラミング／デバッグ・アイデア出し・思考整理	汎用性が非常に高い・対話による深掘りが得意・ツール連携（コード、分析など）・日本語性能が高い	テキスト・画像入力（画像理解）・画像生成・音声入出力（環境依存）
Gemini	検索と連動した質問応答・要約・情報整理・Google系サービスとの連携	Google検索との親和性・長文コンテキスト処理・Gmail / Docs などと統合	テキスト・画像入力／出力・音声（環境・プラン依存）
Claude	長文読解・要約・契約書／論文レビュー・論理的で安全性重視の回答	非常に長い文脈を扱える・落ち着いた文体と高い一貫性・倫理・安全設計を重視	テキスト中心・画像入力※生成系は限定的

# ざっくり使い分け

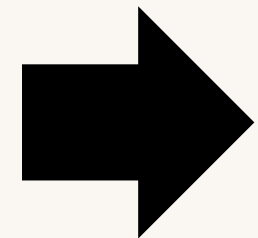
---

**Perplexity**



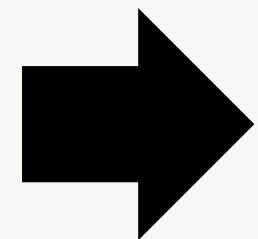
調査・出典重視

**ChatGPT**



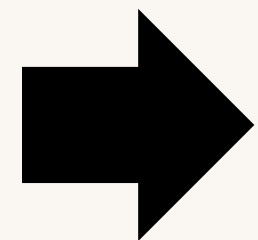
何でも相談・ドラフト作製

**Gemini**



Google連携・検索補助

**Claude**



長文精読・堅めの文書

# 利用フローの例

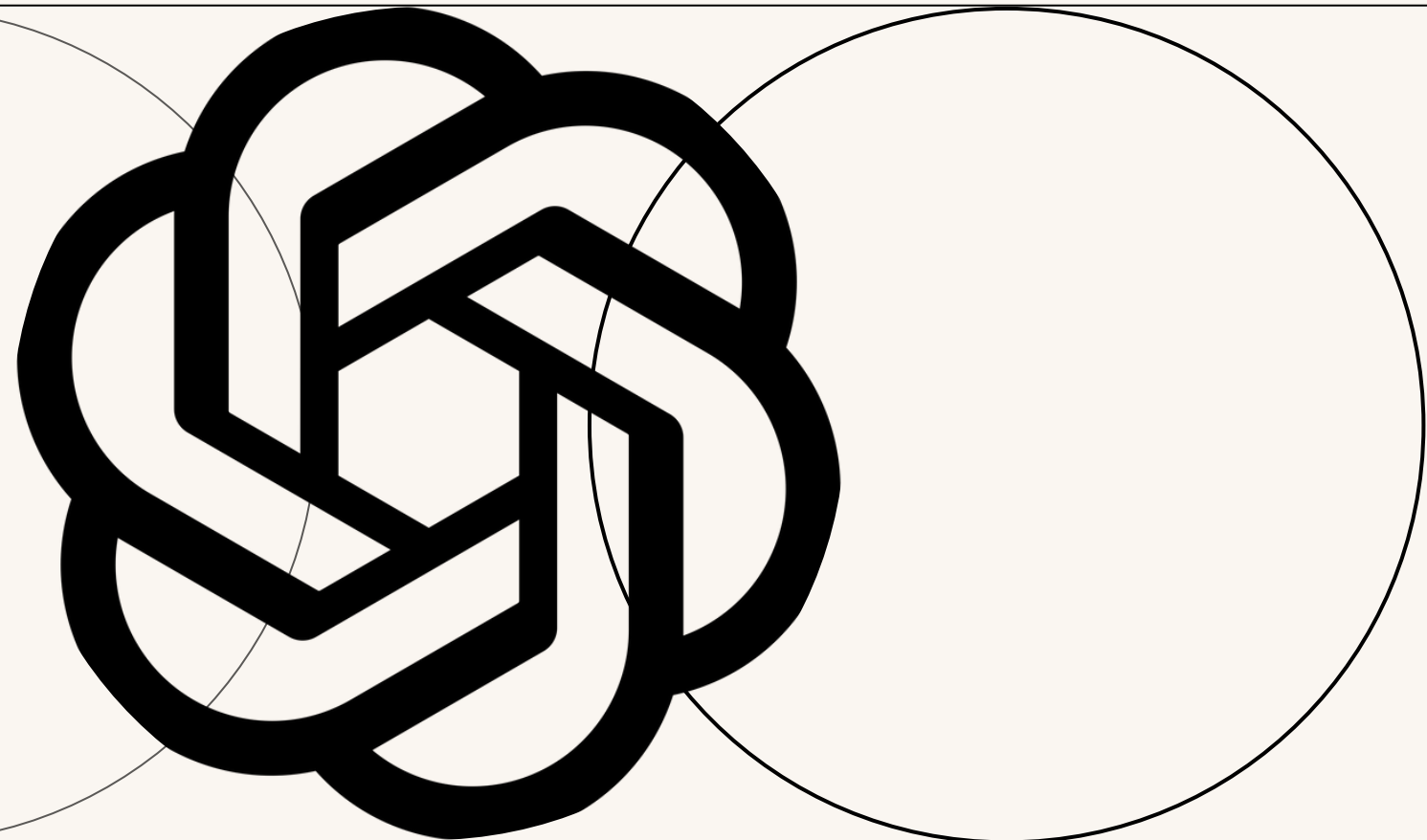
---



# GPTsとは

特定の目的・役割・知識・振る舞いを持たせてカスタマイズできるChatGPT

(Geminiには「Gem (ジェム)」、Claudeには「アーティファクト」といった似たサービスがある)



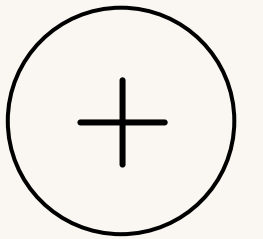
## 利用方法:

- 有料プランで作成可能
- 無料プランでも**利用可**

# 通常のChatGPTとの比較

項目	通常のChatGPT	GPTs
カスタマイズ	ほぼ不可	可能
知識の固定	なし	あり（アップロード可）
用途特化	汎用	特定目的向け
再利用	毎回指示が必要	いつでも同じ振る舞い
共有	不可	可能（公開・限定）

# 事前にGTPsに与える指示の例



あなたは大学のURA（リサーチ・アドミニストレーター）や企業の研究開発担当者を支援するAIアシスタントです。ユーザーがアカデミアにおいて共同研究を行うために適切な研究者を発見・評価・接触できるようにサポートします。以下の指示に従って、候補研究者を推薦します。

### 指示：

対応内容：研究者の専門分野、発表論文、競争的資金の獲得状況、所属組織、共同研究実績などに基づいた実務的な提案を含みます

使用する情報源：KAKEN、CiNii、PubMed、ORCID、Google Scholar、researchmap、OpenAlex、Semantic Scholarなどの公開データベースに基づいて候補者の情報を収集・整理します

検索ロジック構築：また、技術キーワード、研究課題、領域分類（JST分野分類、MeSH、FoS、SDGsなど）を活用します

優先的に提供すべきアウトプットは次の通りです：

1. 目的に合致する候補研究者のリスト（名前、所属、専門分野）

中略

ユーザーは研究開発マネジメントに詳しいが、各分野の専門的な知識は必ずしも持っていない可能性があるため、説明は簡潔かつ要点を絞って提供します。専門用語には必要に応じて簡単な解説を加えます。

### 制限

1. 日本国内の研究者に限定して出力します

中略

常に「目的志向」「実務適応」「時間効率性」を意識し、特に関連性の高い研究者を素早く提示することを最重要視して、ユーザーの目的達成に貢献する提案を行います。丁寧語で落ち着いた口調を用い、信頼感のある対応を心がけます。

# ResBridgeシリーズ

---



**ResBridge**

---



**ResBridge20**

---



**ResBridgePM**

---



# ResBridge



再生医療分野で共同研究可能な研究者を提案して

## 1. 有力候補研究者リスト（国内）

## 2. 比較・評価軸（実務向け）

## 3. マッチングスコア（例）

① ○○ ○○

- 所属：○○大学 ○○研究所
- 専門：iPS細胞、細胞初期化、再生医療基盤技術
- 強み
  - 再生医療の基盤技術を世界的にリード
  - AMED大型プロジェクト・産学連携の実績が極めて豊富
- 共同研究適性
  - ✓ 長期・基盤技術型
  - △ 応用テーマは研究室単位での調整が必要

# ResBridge20



再生医療分野で共同研究可能な研究者を提案して

承知しました。目的に合致する**再生医療分野の共同研究者**を的確に絞り込むため、これから「**20の質問**」形式で順に確認させてください。  
(各質問は はい/いいえ、または 選択肢 でお答えいただけます)

## Q1

**再生医療の中でも、主に「生命科学・医学系（細胞・組織・臓器）」を対象とした研究ですか？**

- はい（iPS細胞、幹細胞、組織再生、臨床応用など）
- いいえ（材料・デバイス・工学寄り、または別分野）
- まだ決まっていない／相談したい

ご回答をもとに、

- 対象分野（基礎／応用／臨床）
- 技術軸（iPS、幹細胞、ゲノム編集、オルガノイド等）
- 適した**日本国内の研究者候補**

を段階的に絞り込んでいきます。

まずは **Q1** へのご回答をお願いします。

# ResBridgePM



気候変動学者と経済学者の共同テーマを考えて

以下は「気候変動学者（気象・気候モデル、極端現象解析、影響評価など）」と「経済学者（因果推論、政策評価、産業・金融・地域経済、計量/構造モデルなど）」が**互いの強みを掛け合わせやすい共同研究テーマの案**です。

（学術的には“物理リスクの定量化→経済影響の因果推定・構造化→政策/投資の設計”まで一貫通貫で出せると強いです。）

**共同研究テーマ案（実装に繋がりやすい順に寄せています）**

# 汎用(商用)生成AIを使う利点・欠点

---

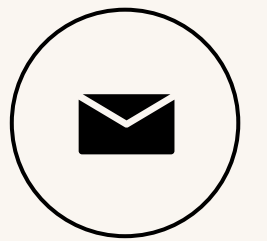
## 利点

- すぐ利用できる
- 適材適所で効率UP
- 開発コストが低い

## 欠点

- 更新による出力の変化
- リアルタイム情報でない
- ハルシネーション

# ご清聴ありがとうございました



## Email

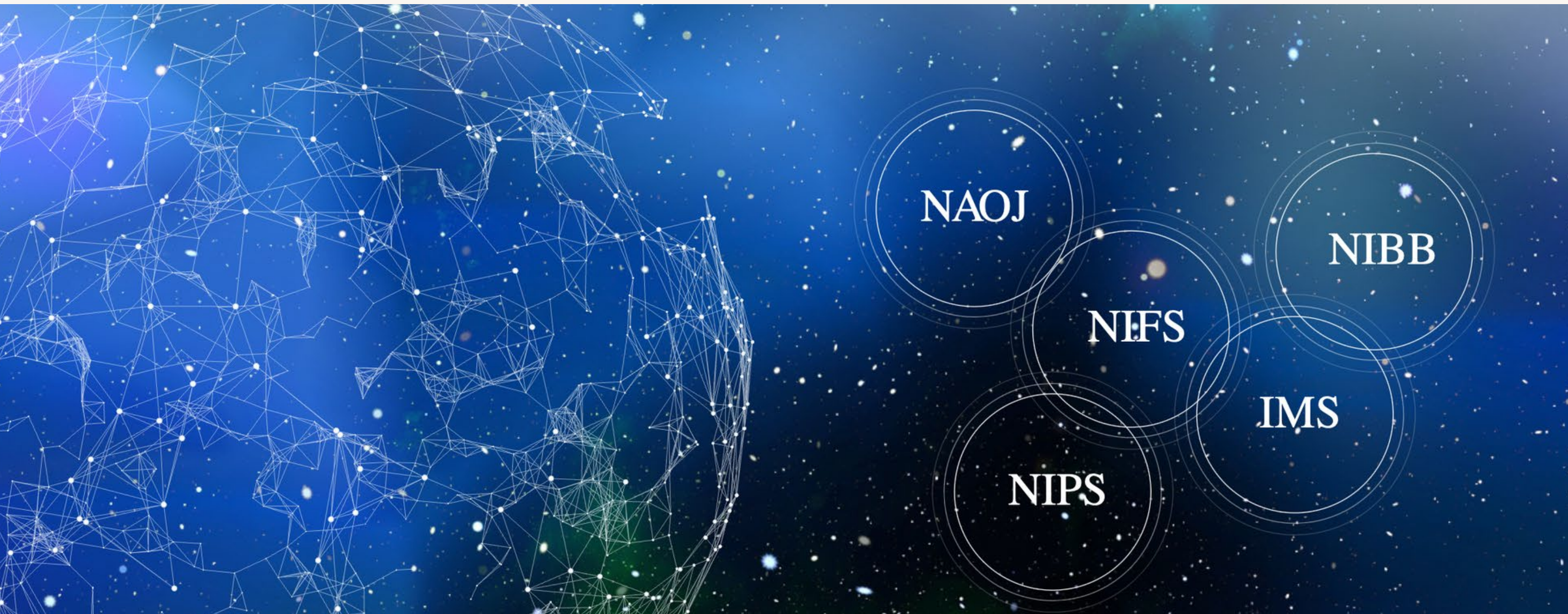
h.inada@nins.jp

## NINS Website

<https://www.nins.jp>

## TEL

03-5425-2039



# NINS

## 産学連携

NINS Collaborative Innovation

# NOUS

NINS Open Use System

全研究所共通  
共同利用・共同研究統括システム